



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
環境情報部環境調査グループ 担当：中戸、西村
TEL：06-6972-5862 FAX:06-6972-7695

プレスリリース

平成 25 年 6 月 21 日 14:00

府政記者会 会員各位

PM_{2.5}の濃度が高くなった日の原因について ～平成 24 年度微小粒子状物質成分分析結果（速報）～

微小粒子状物質(PM_{2.5})は、発生源から直接排出された粒子（一次粒子）と、大気中に排出されたガスが反応して生成した粒子（二次粒子）から成り、発生源が多岐にわたっているため、現状ではどのような発生源から排出された大気汚染物質がどの程度PM_{2.5}の生成に寄与しているか明らかになっていません。

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所では、濃度が高くなる原因や発生源の種類、寄与割合を明らかにし、今後のPM_{2.5}対策を検討するため、大阪府の大気汚染の常時監視の一環としてPM_{2.5}に含まれる成分の分析を下記の通り実施しました。

大阪府域において、PM_{2.5}の濃度が高くなる原因としては、

- (1) 地域の発生源からの汚染物質の蓄積
- (2) 大陸からの移流
- (3) 光化学反応による二次生成の促進

が考えられますが、このたび、平成 24 年度の大阪府所管測定局の成分分析結果から、PM_{2.5}の濃度が高くなった日の主な原因が確認できました。

今後、政令市が実施した成分分析結果も含めてさらに解析を進め、今秋にその結果を公表する予定です。

なお、本日、大阪府から平成 24 年度における大阪府内の大気汚染の状況について公表されています。

記

1. 測定地点 泉大津市役所（一般環境大気測定局）
富田林市役所（一般環境大気測定局）
カモドール MBS（自動車排出ガス測定局、高石市）
2. 測定期間 春季：平成 24 年 4 月 18 日(水)～5 月 2 日(水)
夏季：平成 24 年 7 月 26 日(木)～8 月 9 日(木)
秋季：平成 24 年 11 月 1 日(木)～11 月 15 日(木)
冬季：平成 25 年 1 月 24 日(木)～2 月 7 日(木)

3. 解析結果 PM_{2.5}濃度が環境基準の日平均値である 35 μg/m³ を超過した4日間（4月24日、25日及び7月28日、29日）と冬季で比較的濃度が高かった1月30日～2月1日を対象に、濃度が高くなった原因について解析した結果は次のとおりです。

濃度が高くなった日	濃度が高くなった主な原因
1月31日、2月1日	地域の発生源からの汚染物質の蓄積
4月24・25日、1月30日	大陸からの移流
7月28・29日	光化学反応による二次生成の促進

(参考) 「微小粒子状物質 (PM_{2.5}) 成分分析」ウェブサイト

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/kankyo/gijutsu/pm25/>

大阪府報道提供資料

「平成24年度における大阪府内の大気汚染の状況について」

<http://www.pref.osaka.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=13593>

(添付資料) 「資料 PM_{2.5}の濃度が高くなった日の原因について」